いわき市長からのお願い

１．本日（３月１９日）の状況
・発災してから一週間が経ちます。浜通りは、過去に類を見ない巨大地震、大津波被害に加えて、原発事故の三大災害に見舞われております。
また、この災害により燃料や食料品、日用品などが枯渇している現状です。これらの要因として、屋外退避の３０㎞圏内が、市内のごく一部でありながら、市内全域を退避エリアと誤解し、物流車が市内に入ってこない状況となっています。
・市内の沿岸部では、大津波により避難生活を強いられておりますが、いわき市のほとんどは３０㎞エリア外であり、原発の影響はほとんど無いことを理解していただきまして、物流を正常化していただきますよう、切にお願い申し上げます。

２．今ほしいもの
・いわき市は広大な面積の中で３４万人の人たちが暮らしています。そのために移動手段として、車が欠かせないものとなっています。日常生活を行う上でガソリンの確保は必然です。一刻の猶予もありません。ガソリンを運んできて下さい。
・また、介護用品(紙おむつ)、赤ちゃん用必需品(紙おむつ、粉ミルク、離乳食)、生理用品も不足しています。
・食料品も不足しています。レトルト食品、缶詰、カップ麺、インスタント食品等保存の出来る食料品をお願い致します。

気仙沼市長からのメッセージ

気仙沼市では，3月11日の発災から，現在把握しているだけで，死者数416人を数える甚大な人的被害と建物や道路の損壊などの物的被害を受けました。

また，電気・水道・通信等，ライフラインが途絶え，市民のみなさんは家族との連絡が困難な状況となっております。

災害対策に携わる我々行政機関も被害を受け，関係機関や避難所等との連絡が思うようにならない状況にあり，全市民が避難者といっても良いほどの甚大な被害を受けており，さらに，燃油の調達が非常に困難で，寒さをしのぐことや，重機の稼動，物資の運搬等に大変苦心しております。

ありがたいことに本市には，自衛隊をはじめ，県外からの警察，消防，自治体，ボランティアのみなさんなど，全国から温かい支援をいただいております。

今，ライフラインの復旧が進み始めているものの，復興にはまだまだ多くの時間を要するものと思います。

全国の皆様には，どうか引き続き温かい御支援をいただきますよう，市民を代表し，心からお願いを申し上げます。

必要物資名	単位	数量	規格	備考
水	ℓ	1000	2ℓペットボトルで	
レトルトご飯	個	200	1食分毎	
乾電池（単1・2・3）	箱	各500		
消毒液	本	2,000		
マスク	枚	20,000		
パン	食	10,000		
紙食器	枚	10,000		
紙コップ	個	10,000		

必要物資名	単位	数量	規格	備考
水	ℓ	1000	2ℓペットボトルで	
レトルトご飯	個	200	1食分毎	
乾電池（単1・2・3）	箱	各500		
消毒液	本	2,000		
マスク	枚	20,000		
パン	食	10,000		
紙食器	枚	10,000		
紙コップ	個	10,000		

大船渡市からのメッセージ

数々の心あたたまるご支援に感謝申し上げます。
さて、岩手県は四国4県に匹敵する面積があるにもかかわらず、当市をはじめ、地方都市には公共交通が極めて少なく、日常的に自家用車での移動がほとんどとなっています。
さらに、このたびの震災で公共交通が壊滅し、移動手段が自家用車以外になくなりました。
ところが、ガソリン不足により、災害復旧車両や緊急車両の給油を優先するため、一般車両に供給することが困難になり親族の安否を確認したり、医療スタッフが通勤するための車両にも給油できない状況になっています。
なんとか、市民の唯一の移動手段を確保するために、一般車両に給油できるガソリンや、作業用重機の軽油を確保したいと考えていますので、よろしくお願いします。
早く復興できるようがんばります。

必要物資名	単位	数量	規格	備考
(例)レトルトご飯	個	1,000		
米(10kg)	袋	1,000		
バナナ	本	5,000		
魚の味付け缶詰	個	2,000		
ソーセージ	本	3,000		
カップスープ	個	6,000		
菓子パン	個	6,000		
子供用菓子	個	適宜		
ガソリン	キロリットル	100		
軽油	キロリットル	100		

白河市長からお願い

1．近況

・本市では、地震による土砂崩れで１４名の方が行方不明となりました。
その後の捜索により、残念ながら１３名の方が遺体で発見され、現在も１名の方が発見に至っておりません。
・また、家屋の倒壊等により避難所に避難されている方は、約５００名になります。
・地震発生時には市内のいたるところが断水し、水の確保に苦労しましたが、現在はおおむね８０％程度復旧し、水に対する不安が解消しつつあります。
・一方、燃料、特にガソリン・軽油が逼迫し、復旧や支援活動に支障をきたしている状況にあります。
・さらに、白河産の農産物が引き取りを拒否されるなど、原子力発電にかかわる風評被害に頭を悩ませていますが、多くのボランティアの参加もいただき、市民一丸となって今回の危機を乗り切るべく活動を行っています。

2．今ほしいもの

・県内外の自治体・企業から、また被災された市民からも多くの救援物資が寄せられ、当面の必要品は充足しつつあります。
・一方、燃料、特にガソリン・軽油が逼迫し、切実な状況に陥っています。

石巻市長から国交省へのメッセージ

このたびの東北関東大震災では、宮城県石巻市は震度６弱という強震と、高さ十m以上という大津波により甚大な被害を受けました。

市では震災後すぐに災対本部を設けましたが、津波によって本部である庁舎が浸水し、さらに電話や携帯による通信手段も途切れるという事態となり、各支庁との連絡ができず、まさに八方塞がりとなった時に、当市に事務所を置く東北地方整備局北上川下流河川事務所の御支援御協力により、衛星通信電話の設置やボートの貸与そして市街地の浸水対策として排水ポンプ車による排水活動は、死の淵にあった石巻市を生へと導く第一歩ともいうべきものであり、感謝の言葉もありません。

災害発生から１週間以上が過ぎようとしていますが、約四万人の市民が避難し、寒さが続く昨今にあっては、いろいろな不足が目立つところでありますが、全国そして世界の多くの方々から心温まる支援物資が届けられており、また国から物心両面にわたる御支援もあり、解消へと向かうのではと考えております。

しかし現在、最も心配なことは、多くの市民が壊滅的な被害を目の当たりにし、復興そして明日への希望を失いつつあることです。

死者そして行方不明者は日を追って増え続け、また家屋を失った世帯が１万５千世帯以上もある中で、明日への希望や夢はなかなか見出すことは厳しい現状ではありますが、少しづつでも復興に向けて進まなければなりません。

復興のためには、マイナスからゼロそしてゼロからプラスへと向かっていく施策や整備が必要であり、その大きな一つとして新たな街づくりなどの基盤整備であると考えております。

市内は上下水道や電気、電話、ガスなどのライフラインの停止や、橋や道路、港湾などのネットワーク機能が寸断され、また海岸や河川施設の破壊など、長年にわたり整備した多くを今回の災害で失いました。

特に、沿岸部の住宅や公共施設は壊滅的な被害を受け、新たな街づくりという視点からの災害復旧が必要であり、物的人的な支援が必要です。

そして、地震津波の驚異的な破壊力により失われた、国道３９８号新北上川大橋そして北上川河口部左右岸の堤防は、早期の復旧が必要であり、特に河口部は津波によって多くの人が未だ行方不明となっている地域だけに早期の復旧整備が無ければ不明者の捜索もままならないものであります。

さらに、地震によって石巻は約67 cmも地盤が沈下し、なんでもない潮位なのに浸水し道路冠水や家屋への浸水が発生しているという声も聞いており、海岸・河川施設が破壊されている中で大きな課題になりつつあります。

約四万人の避難者への対応、ライフラインの復旧、交通ネットワークの確保、破壊された河川海岸施設及び港湾施設の復旧など、取り組まなければならないものがあまりにも多くありますが、是非、市民への明日への光として、迅速な復旧整備を進めていただきたくお願いいたします。

必要物資名	単位	数量	規格	備考
白米	kg	30,000		
非常用アルファ米(100g)	個	100,000	できあがり 200g	
カップめん	個	100,000		
ガソリン				
カセットコンロ	個	5,000		
缶詰	個	200,000		
乾電池	単1・単3 個	各10,000		
常備薬	一式	230		
下着・くつ下(新品)		10,0000		

釜石市長からのお願い

1 本日(3月20日)の状況

震災後一週間が経ちました。市内では幹線道路が通行可能となり、電気、電話などのインフラも徐々にではありますが、改善しつつあります。

これまで最悪の状況にあっても懸命に献身的にご協力・ご支援いただきました消防団、町内会など地域住民の皆様方には心から感謝申し上げます。

現在、当市には世界各国からの救援隊、自衛隊・警察・消防など多くの関係機関の皆様が釜石入りされ現場で救援活動に当たっております。

本日までにご遺体で発見されたご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げますとともに、行方不明となっておりますご家族の皆様には無事再会されるよう、引き続き発見・捜索に全力を尽くす所存であります。

2 今ほしいもの

現在、当市では避難所に避難している方々のために、次の用品を必要としています。

灯油、カセットボンベ、米、トイレットペーパー、子供用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用品、乾電池、ストーブ(反射式)、炭、長靴、靴下、下着、手指消毒液、タオル、ローソク、歯ブラシ、歯磨き、洗剤、ラップ、そのほか日用品

南三陸町長の声

被災した町に対して全国各地から多大なご支援をいただき、感謝申し上げます。

避難所生活を送っている方々も元気で過ごしているので、今後もよろしくお願いします。

宮古市長から

１．本日（３月２０日）の状況

・発災してから１０日目となります。
　現在、救助活動、ライフライン復旧作業、支援活動などに励んでいるところであり、水道は約８割が復旧し、電気も徐々に復旧しはじめているところです。
しかしながら、燃料も不足している状況にあり、避難所６５箇所にいる避難住民約８，０００人が不便な生活を送っている状況です。

２．今ほしいもの

・仮設住宅の早期建設
・燃料の供給（ガソリン等）
・NTT 回線の早期回復

名取市長からのお願い

１．本日（３月２０日）の状況

被災当初は 12,000 人近くの方が避難所生活をしていましたが、ライフラインの復旧により、現在は 19 か所に 2,700 人となった。家族が目の前で流され、肉体的にも精神的にも限界に達している被災者は、ボランティアの支援を受けながら避難所生活をしている。行方不明者の捜索は、自衛隊、消防、緊急援助隊、警察、地元建設業者の連携で、連日行われており、ご遺体が 500 体（３・２０現在）となっている。市民生活は、物流が復活しておらずすべての生活物資が不足し、治安の悪化も顕著で、被災した空き家や事務所、資材置き場から盗難事件が多くなっており、一部の地域では自警団が発足している状況で、警察の対応が間に合わず、安心して暮らせる状況ではない。

２．今ほしいもの

簡潔に２点をお願いしたい。

その１

何をおいても燃料の確保。捜索や被災地の整備に必要な重機類、物流を確保するため、ガソリン等の燃料の安定供給が必須と考える。

その２

また、政府としての災害復旧に関する方針を迅速かつ明確に示していただき、県と連携し現場が動きやすい体制を早急に整備することが肝要と考える。

中でも、仮設住宅の配分計画を早急に示し、名取市としての取り組みを早急に始めたい。

陸前高田市長からのメッセージ

今回の災害に際し、被災者の支援用として下記のとおり車両が是非とも必要となっておりますので、何卒格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

車種	数量	用途
マイクロバス	1	避難者の移動用
普通ワゴン車	10	避難者の移動用
軽乗用車	1	避難者の移動用
普通トラック(低床)	1	救援物資の輸送
普通バン	2	救援物資の輸送
軽ワゴン車	5	救援物資の輸送
軽トラック	5	救援物資の輸送
軽ダンプ	1	救援物資の輸送
軽SUV	3	救援物資の輸送
普通SUV	1	救援物資の輸送
給水車(1トン　アルミ製)	1	水の供給
計	30	

相馬市長からのお願い

3月20日の状況

災害発生以来全国からの御支援の下、復興にむけて努力をしてまいりました。地道に、そして相馬市としてまとまってこの困難に立ち向っております。国交省にはお世話になっております。現在の課題はインフラの不備より原発事故による風評被害です。つまり福島県次通り全体が放射能汚染地域のような印象を持たれ、物流が困難となり物資が入って来ない点が最大の問題です。相馬市は国による避難命令が出ない限り、ここで踏んばる決心です。物流行者の理解と、販売業の方々の御支援をお願い致します。なお原発からは45kmの距離です。

今ほしいもの

食料物資です。ソーセージ、ハム、玉子、なければ缶詰、バター梅ぼし。米は集まって来ていますので、副食になり得るもの。生活用品として トイレットペーパー、ティシュペーパー、女性生理用品、ホッカイロなど

仮設住宅移動について、小さな冷蔵庫（中古は 5年以内 100×60c以内）中古の電気こたつ（小さいなもの、5年以内の中古に限ります）小さめの掃除機（中古5年以内）、ラジオ（懐中電灯つき防災ラジオなら動也）

福島県いわき市における店舗等の状況
（3 月 21 日）

○ 大手スーパーは、市内数十店舗のうち数店舗開業。

○ コンビニは、営業している店舗もあるが、休業中が大多数。

○ ホームセンターは、市内十数店舗のうち５店舗開業。

○ 大手ドラッグストアと大型衣料品店は、全店舗休業。

○ 金融機関 10 社も、全店舗休業（ただし、一部支店で ATM 稼働）

○ ガソリンスタンドは、約 130 店舗のうち、30～40 店舗開業。

○ 医療機関は、市立病院は通常どおり。

宮古市長から

１．本日（３月２１日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は２９４人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６９箇所に設置された避難所には５，９１７人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）
・トイレットペーパー
・缶詰
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット

女川町からの情報発信

〇女川町で今対応して欲しいものはガソリンが不足しています。
　貯蔵する施設は 1 箇所のみ残っていますが十分な補給のためには外部からの補給が必要です。
　現在、石巻市などの施設も稼働していない状況ですので、一刻も早い周辺地域での供給開始を御願いします。

〇また、紙皿、紙コップ、わりばしが不足しています。

以上

大槌町から情報発信

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況、今すぐ欲しいものは何かを伝えたいと思います。

今回の大地震において津波で役場が壊滅し、町長をはじめ職員32名が犠牲になり現在104名で震災対応を実施しています。震災から一週間が過ぎ町民の疲れもピークに達している現状です。

一日でも早いライフラインの復旧、仮設住宅の建設により町民の皆さんが生活できるよう頑張っているところです。

本日の状況は、自衛隊をはじめ関係機関の元、人命救助、捜索、給食・給水等各種支援、通行道路の確保、ライフラインの復旧に向けた作業を実施しています。

物資等に関しては各地から支援物資が届き非常に感謝しております。ただ、何も持たず身一つで避難したため未だ不便な状態が続いています。

特に学校に通っている子供たちは、津波で学用品全て流され、学用品が何もない状態です。

下記に今すぐ必要なものと、大槌町の現状を伝え、本日の被災地大槌町からの「生の声」とします。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

1．下着（男・女）

2．学用品

・ランドセル（１１０個）
・ジャージ（小学生用：１２０～１６０ｃｍ、小学生以外：Ｓ・Ｍ・Ｌ・ＬＬ）
・クレヨン
・色鉛筆（１２色）又はクーピーペンシル
・ハサミ
・ノリ
・筆箱（鉛筆、消しゴム）
・下敷き
・ノート（横罫　Ｂ５）
・ノート（１０mm方眼のマス目入りノート　Ｂ５）
・中ズック（１８～２４ｃｍ、２４～２７ｃｍ）

福島県相馬市の現状（3/21 現在）

① 建設業者（※）は、約 20 社のほぼ全てが活動し、復旧作業や行方不明者捜索に協力している。

（※　市内に本社がある会社）

② 開業している病院は、23 病院のうち、3 割程度だが、全国から応援に来た医者・看護師と共に、避難所の往診等も含めて努力している。医薬品は、調達できている模様。

③ 特別養護老人ホームや老人保健施設は、3 施設とも開業している。

④ 薬局は、大手薬局 3 店舗は営業していないが、個人薬局が一部営業している。

⑤ 金融機関は、8 機関のうち、2 機関しか窓口業務を行っていない。

⑥ ガソリンスタンドは、12 社のうち、6 社が営業しているが、ガソリン等が圧倒的に足りておらず、一般販売があるときは、前日の夜から長蛇の列となっている。

⑦ コンビニは、20 店舗の全てが営業していない。

⑧ スーパーマーケットは、11 店舗のうち、2 店舗しか営業していない。

⑨ 官公庁は、開庁している様子。

山田町からのメッセージ

本町では、全世帯の約53%が被災し、現在、31カ所の避難所に4，141人が避難して不自由な生活を強いられています。

全国からの支援物資が、徐々に届けられてきました。大変感謝しております。

なお、食料が充分とはいえない状況ですので引き続きご支援をお願いします。

未曾有の大災害により基幹産業である漁業が危機に瀕しています。

全国からの支援を期待しながら、復興のために町民一丸となってがんばります。

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備考
下着（上）大人　男用	枚	4,000		
下着（下）大人　男用	枚	4,000		
下着（上）大人　女用	枚	4,000		
下着（下）大人　女用	枚	4,000		
女性用生理用パンツ	枚	1,000		
靴下　大人用	足	8,000		
靴下　子供用	足	1,000		
単一乾電池	本	1,000		
ガソリン用ケイコウ缶	缶	100		
カップラーメン	箱	1000		

釜石市長からのお願い

1 本日(3月22日)の状況

震災後10日あまりが経ちました。市内では幹線道路が通行可能となり、電気、電話などのインフラも徐々にではありますが、改善しつつあります。

これまで最悪の状況にあっても懸命に献身的にご協力・ご支援いただきました消防団、町内会など地域住民の皆様方には心から感謝申し上げます。

現在、当市には世界各国からの救援隊、自衛隊、全国各地の警察・消防など多くの関係機関の皆様が釜石入りされ現場で救援活動に当たっていただいております。

本日までにご遺体で発見されたご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げますとともに、行方不明となっておりますご家族の皆様には無事再会されるよう、引き続き発見・捜索に全力を尽くす所存であります。

2 今ほしいもの

現在、当市では避難所に避難している方々のために、次の用品を必要としています。

灯油、カセットボンベ、米、トイレットペーパー、子供用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用品、乾電池、炭、長靴、靴下、下着、手指消毒液、タオル、ローソク、歯ブラシ、歯磨き、洗剤、ラップ、そのほか日用品

南三陸町長からお願い

１．本日（3月２２日）の状況

本日の南三陸町は曇り空の寒い一日ですが、避難民の皆さんは全国の皆様のご支援のおかげで、元気に避難所生活を送っております。

今回の大津波で南三陸町は壊滅的な打撃を受けました。被災前の町の世帯数は５,５７４世帯でした。今回の津波で３,９００戸あまりが被災し、多くの町民の皆さんが家を失ってしまいました。また、町民の半分以上の９,７００人が避難所生活を余儀なくされています。

これから、町の復興に向けて長い長い道のりが始まります。全国の皆さんの暖かいご支援を引き続きお願いします。

２．今ほしいもの

今日現在では下記のものが不足しています。

〔食料品〕

・ 調味料

〔日用品〕

・トイレ用の洗剤等（バケツ、ブラシ）

宮古市長から

１．本日（３月２２日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３０７人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６９箇所に設置された避難所には６，１５３人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）
・トイレットペーパー
・缶詰
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット

◆女川町からのメッセージ
女川町では３，２０２人が避難しています。在宅で避難している人もいるため
一日５，０００食の食料が不足しています。また、その他物資も不足しています。
そこで下記の食料及び物資を何とかして欲しい。
＜食料＞
　5,000食分
○食用油
○味噌
○塩
○砂糖
○だし

＜その他物資＞
○大きめのゴミ袋　　5,000袋
○避難場所の仕切り用　段ボール　3,000個

大槌町副町長の声

災害発生から、12 日目を迎え避難所では食べ物や日用品などが届くようになり、少し落ち着きを取り戻しています。

そうした中で、現在、町民が一番困っていることは、町にガソリンが無いことです。

宮古市では、一人１０リットルの制限があると聞きましたが、大槌町では、１０ｋｍ以上離れたガソリンスタンドで一人５リットル入手するのがやっとの状況です。

このため、役場には「ガソリンをなんとか確保してほしい。」という声が多く寄せられており、１リットルでも多くのガソリンを回してほしいというのが、町民の願いです。

なお、大槌町にあるガソリンスタンドは、全滅のため、大槌町に近い釜石市のスタンドに早くガソリンを補給してほしい。

立谷市長からお願い

1. 本日（3月22日）の状況

相変らず物資が入らず、本日久しぶりに開店したスーパー1店舗とエンビニー店舗（ローソンです。新琉社長の強引な図らいにより）も長蛇の列。数時間で完売しました。でも市民の気持ちに明るさが戻ったようです。今日は行政委員会を開き、原発問題に対する市の方針について皆し同意を求められた。「物資が入って来なくとも、全国から届いた米が充分にあるので、配給体制を作りなす。よって今は梅干を求めています。米、みそ、梅干、のりがあれば万万城作戦ができるよ。兵糧があれば死にはしないから、逃げ出して不自由な思いを取り、相馬市全体で万万城しましょう。もともと城下町です」

2. 今ほしいもの

↑

従って　のり、梅干

袋に入った　みそ。

たまに　ぜいたししたい時の　かん詰

山田町からの情報発信

○ 必要物資

①透明パック　　※屋台でよく焼きそばを入れるもの
②輪ゴム
③紙コップ
④割りばし
⑤レトルト食品
⑥カップ型の味噌汁

①～⑥を各１２６，０００個
※ ６，０００人×３回×７日間

⑦トレー（おぼん）　　２０個
※アルミ製など一度におにぎりを５０個のせられるもの。
⑧お皿　　１，５００皿
※ 主菜・副菜・ご飯をのせる３分割されているもの。

⑨お風呂まわり用品
シャンプー・リンス
石けん・ボディーソープ
スポンジタオル
Ｔ字ひげそり（使い捨てのもの）
洗顔料（ビオレなどを）　　⑨については適量

東松島市長から

本日の状況

東松島市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は６７９人となり、今後更に増加されることが予想されます。

また、建物の流失・倒壊、海岸線から５ｋｍ～６ｋｍに及ぶエリアの床上・床下浸水、ライフラインの切断により、１２，４１９人の避難者が８８箇所に避難しており、市民生活では、食料・灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

ライフラインの回復とともに、帰宅される避難者も徐々に増えつつあります。

そのような避難者の多くは、床上、床下まで浸水した方々であり、汚泥除去の作業が次の段階として、必要であります。

***.*.

平成２３年３月２３日

いわき市長からのお願い

３月２０日にいわき市平体育館において開かれた講演会において、長崎大学医学教授であり、放射能影響等の権威である山下俊一先生が「現在のいわき市における放射能測定値は、依然として健康に影響を与えない極めて低い数値で推移しており、事故直後の最も高い数値でも安全であり、現在のレベルでは、まったく安全で、外出も大丈夫です。雨の日に外出し、濡れたとしても健康に影響を与えません。」と明確に見解を発表されました。

国民の皆様、いわき市のほとんどは３０ｋｍエリア外であり、原発の影響のほとんど無いことを理解していただきまして、物流を正常化していただきますよう、切にお願い申し上げます。

宮古市長から

１．本日（３月２３日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３１９人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６９箇所に設置された避難所には５，８１２人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

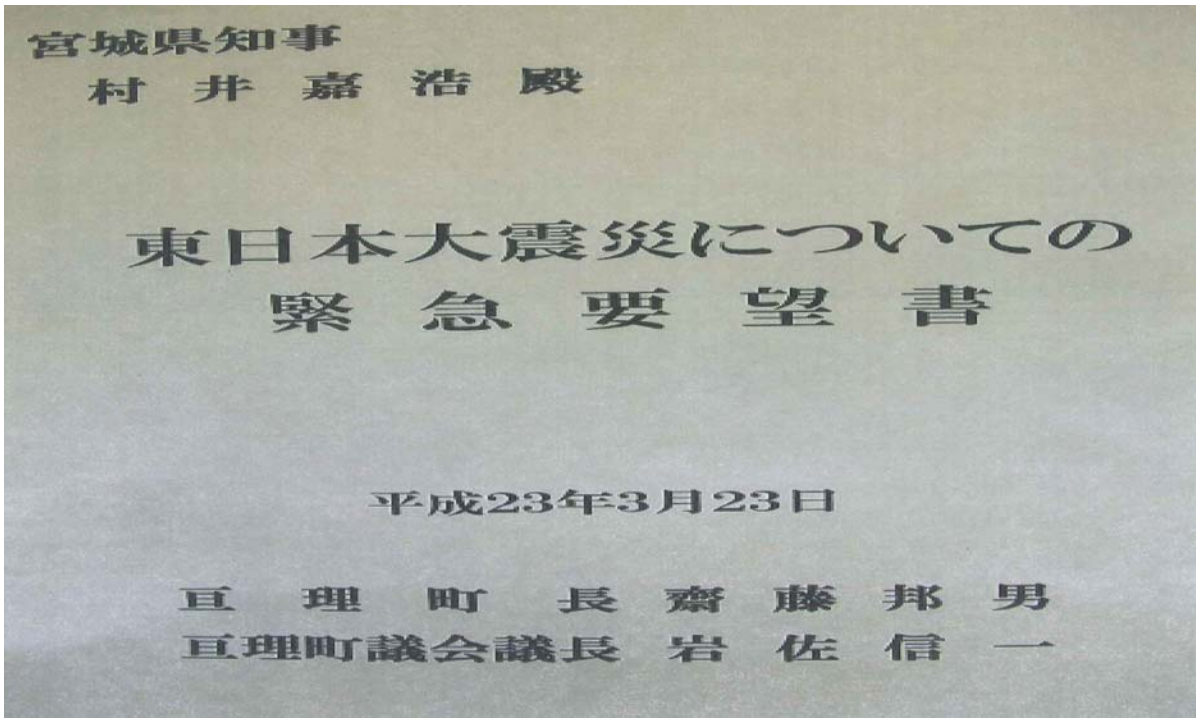
・衣類（下着）
・トイレットペーパー
・缶詰
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット

◆女川町からのメッセージ

・洗濯用の洗剤（粉）　　10箱　　※1箱6－10個入りのもの

亘理町から

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」では、亘理町においても、被害が甚大であり、かつ復旧には長期化、深刻化することから、村井宮城県知事あてに本日午後に緊急要望書を提出しました。



宮城県知事
村　井　嘉　浩　殿

東日本大震災についての
緊　急　要　望　書

平成23年3月23日

亘　理　町　長　齋　藤　邦　男
亘理町議会議長　岩　佐　信　一

3月11日に宮城県を襲った「東日本大震災」は、国内最大のマグニチュード9．0を記録し、大地震と津波による被災で、死傷者や行方不明者が多数でている。

本町においても、被害は甚大であり、復旧には長期化、深刻化することが憂慮されている。

つきましては、下記の事項を早急に取り組むよう強く要望する。

記

1　自衛隊の長期駐屯
2　被災者への支援並びに仮設住宅の早期着工
3　県所有地(亘理町内)の無償貸付
4　県道の災害復旧及び改修
5　荒浜漁港の災害復旧
6　国の「建設海岸」「漁港海岸」「農地海岸」の災害復旧
7　早期復興の為の国並びに県の特別な財政支援
8　一次産業への支援並びに農業水産施設の早期復旧(排水施設等)
9　JR 常磐線の早期復旧
10　被災による雇用対策
11　被災した公共施設への財政支援

岩沼市から

不足物資について

東北地方太平洋沖地震において、全国各地から人的援助、救援物資など多くのご支援をいただき、感謝申し上げます。
毛布、水、食料など緊急のご支援をいただき、おかげさまで避難所の方々も寒さなどをしのぐことができました。
当初6,500人ほどの避難者がおりましたが、いまだ家屋の倒壊などの被害により自宅に戻れない1,500人近くの方々が避難生活を続けております。
それに伴い、ご支援いただきたい物資の種類が日常生活用品へと変化が生じております。これまで同様、ご支援ご協力をお願いいたします。
また、個人の方からの小口の支援は、仕分け作業が難しいため、当分の間遠慮させていただいております。企業の皆様などの大口のご支援をお願いいたします。なお、未使用のもので種類毎にお願いいたします。

- ご支援いただきたい物資
  - 掃除用具(ほうき・ちりとり)
  - 長靴、作業用ゴム手袋
  - 食料(調理不要、保存可能のもの)
  - おむつ(大人用、子供用)
  - カセットコンロ、ボンベ
  - 歯ブラシ
  - 食器用洗剤、洗濯用液体洗剤
  - お椀(発泡スチロール)、紙コップ、紙皿、割りばし
  - 未使用の衣類(下着・肌着・靴下)
  - タオル(手ぬぐい)
  - 床ずれ防止マット
  - 医療用防水シート
  - リップクリーム
- 受け入れを中止している物資
  - 毛布
  - 水
  - ブルーシート
  - 米
  - マスク
  - 古着

お問合せ先:岩沼市災害対策本部
電話0223-22-1111
FAX0223-24-0897

※上記の記載内容は、岩沼市のホームページでもお知らせしております。
http://www.city.iwanuma.miyagi.jp/saigai.html#husoku

宮古市長から

１．本日（３月２４日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３２４人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６３箇所に設置された避難所には５，２７６人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）
・トイレットペーパー
・缶詰
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット

大槌町副町長の声

災害発生から半月がたち、各分野で進展がみられるようになりました。

役場も災害対応だけでなく一般業務についても対応する必要があり、そのため仮庁舎の設置について検討を進めています。

また、庁舎だけでなく、机やイス、パソコンなどの備品も全て流されてしまいましたので、それら備品類も必要になってまいります。

仮庁舎の建物や備品類について、是非とも迅速なご協力をお願いします。

◆―――　相馬市長立谷秀清メールマガジン 2011/03/24号 No.248　―――◆

みなさんこんにちは、相馬市長の立谷秀清です。
今回は、私の書き下ろしエッセー「ろう城」をお届けします。

●ろう城
まず今回の地震津波で亡くなられた多くの方々のご冥福を祈りたい。
相馬市の場合、地震の揺れが終わった直後に災害対策本部を召集し、津波からの避難呼びかけと誘導を指示した。海岸部の5027人の家屋が流出て瓦礫となったが、亡くなった方は約一割。多くの方を避難させた消防団の方々に、心から感謝と敬意とお詫びを申し上げなければならない。避難指示、あるいは誘導の業務により逃げ遅れ、殉職された団員が7人。この方々の尊い命と引き換えに守られた、多くの市民の生活と郷土の再建に死力を尽くすことが、私のせめてもの償いと思っている。

さて震災直後は情報収集と生存者の救出に全力をかけた。地震の倒壊による死者はわずかにひとり。その50分後に信じられない報告が対策本部に入ってくる。津波が6号バイパスを越えようとしているというのだ。私には想像もつかないことだったが、現実は原釜、磯部の集落が壊滅、尾浜、松川も高台以外は波にのみ込まれ、原形をとどめる家屋は無くなっていた。体中に心配と不安が走るなか、災害対策本部の次の仕事は生存者の保護と救出者の健康管理である。夕方の、沿岸部のすべてを飲みつくした海水の中で、孤立している被災者をひとりでも多く避難所に退避させ、暖を与え水と食事を摂ってもらうことに専念した一夜だった。

時間がたつにつれて、行方不明になっている親族や知人の報告が入ってきたが、対策本部の中では誰ひとり感情を表に出す者はいなかった。この非常事態に、市をあげて取り組まなくてはならないことを全員が分かっていた。被災の10時間後、4回目の対策会議で我われは、復興にむかって一歩ずつ進んでゆくことを誓い合いながら、今後の行動指針を短期的対応、中長期的対応に分けて策定した。明日になれば、災害の全容がわかるだろう、犠牲者の情報ももっと詳しくわかるだろう、しかしどのような事態であっても臆することなく、着実に計画を実行していくことを肝に銘じた。

二日目以降の避難所は、被災者とライフライン不通による一般避難民とで過密状態となったが、女性消防隊や自衛隊の応援による炊き出しや、早くも届いた支援物資で何とか最小限のことは出来たと思う。
家を無くされた方々の避難所生活から、アパートや仮設住宅での自立した生活

に移行してもらうこと、災害現地をできるだけ整理すること、またそれまでの長期にわたる不自由な生活のなかでの健康管理や精神的なケアなど、中長期の計画に添ってチーム一丸となって歩み始めた。

ところが。
45キロ離れた遠くの双葉郡から、二度目の悪魔が襲ってくる。放射能の恐怖という不安心理である。広がる一方の原発事故は一日中の過敏報道とともに、周辺地域はもとより日本中を恐怖心に駆り立ててゆく。半径20キロの範囲が避難指示地域になったころから、相馬市にも遠くに逃げ出そうという気分が広がっていった。
同時に国内の物流業者が敏感に反応し、相馬地方やいわき市に入ることを避けるようになった。ガソリンのタンクローリーなどは郡山で止まってしまい、運転手をこちらから向けないと燃料も手に入らない。震災後わずかに開いていたコンビニやスーパーも商品が入って来ないため閉店である。ガソリンと物資が入らない日常生活の不便に加え、原発の放射能拡散の恐怖が相馬地方を襲ったのだ。

市民は終日テレビにかじりつき、解説者は得意げに危険性を説明する。たしかチェルノブイリでも30キロのはずだったが、45キロ離れて避難命令も出ていないはずの相馬市民の顔色がみるみる不安にあふれていく。
もしも放射能の数値が上がったら、その時避難したのでは遅いのではないか？国は、本当は健康被害が出るくらいの危機的状態なのに、国民を騒がせないために隠しているのではないか？ひょっとしたら今こそが逃げるべきタイミングなのではないか？現に米国は80キロまで避難させたではないか？
事実、屋内退避とされている南相馬市では大量脱出が始まった。ガソリンも食糧も医薬品も届かない陸の孤島にいたのでは、ヒロシマのように爆発してからでは遅いのだという恐怖が、まず南相馬市民を相馬市に向かわせた。相馬市の避難所に押し掛けてきたので、こちらでは新たに廃校となっていた相馬女子高を南相馬市民のための避難所とした。容量は1000人分。もちろん食糧の提供もこちらの義務となるが、我われより困っているのだと思ってひき受けることにした。災害対策本部には、一瞬顔をこわばらせるものがいたが異論は出なかった。
しかし、南相馬市民の不安や脱出願望を肌で感じた相馬市民にも危機感と焦りが生じてきた。早く逃げないと、放射能による障害をまともに受けるのではないかという不安が蔓延するようになってきたのだ。対策本部としては、国から避難命令が出る前に、自分たちで自主避難を決めることはあり得ない。この当たり前の立場を対策会議で確認して、三か所の避難所で演説してまわった。

我われはその後の対策会議で、復興に向けて着実に進む方針を、短期対応、中期対応、長期計画と分けて市内の実情に合わせて着実に進んでいくことを決め

てきた。その過程で、もしも国から一時避難を指示されるなら、市民の健康や生命を案じて計画的な集団避難を実行しなければならないが、漠然とした不安にかられて復興計画を遅らせるとしたら、亡くなった人たちに済まない。だいいち、高齢者などの災害弱者にとって、相馬を離れた避難所生活が辛くないはずがない。だから、国から避難指示のない現段階で、市民とともにこの相馬市を離れるつもりは毛頭ない。

ところが、原発の放射能もれに対する国中の不安が、相馬への物流を決定的に止めてしまった。影響が特に厳しかったのが医薬品である。この点は供給会社のトップと話して、相馬がどうしても撤退できない理由を理解してもらった。彼らの理解を得て医薬品の供給は確保されたので、相馬の医療機関は留まることができる。しかし、問題はスーパーやコンビニで、生活用品や食料を調達できないことである。
市民にはご不自由をかけているが、ここで生活の不便さや原発の恐怖心に負けてしまったら、相馬地方は将来ともに復興が出来ないに違いない。昨日、行政組織の区長さんたちを集めて、相馬市はろう城生活に入ることの了解を得た。いつまでも続くはずもない原発騒ぎや物流の風評被害に負けたら、津波から被災集落住民の命を守って殉職した分団長や団員に申し訳がない。
最低、米と味噌と梅干しがあれば、生きてはいける。天明の飢饉はもっとひどかったはずだ。よってろう城をしながらここで頑張る。さいわい全国の市長たちが支援してくれるから、兵糧の心配はない。

■発行：福島県相馬市　企画政策部秘書課
TEL 0244-37-2115

●このメルマガに関するお問い合わせやご意見メールは、
info@city.soma.fukushima.jp

●マガジンの登録・解除は、
パソコンでご覧の方は　http://www.city.soma.fukushima.jp/
携帯電話でご覧の方は　http://mobile.mag2.com/mm/M0094208.html

●メールアドレスの変更は、配信解除してから新規登録してください。

このメールマガジンは、インターネットの本屋さん『まぐまぐ』を利用して発行しています。
http://www.mag2.com/

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備考
ガソリン携行缶	20ℓ	30		

◆釜石市からのメッセージ

必要としているもの

釜石市では、現在、次の物品が不足していますので、ご提供いただければ幸いです。

灯油、カセットボンベ、米、缶詰、塩、砂糖、醤油、、トイレットペーパー、子供用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用品、乾電池、ストーブ(反射式)、炭、長靴、靴下、下着、手指消毒液、タオル、ウエットティッシュ、ローソク、ラップ、そのほか日用品

宮古市長から

１．本日（３月２５日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３２４人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６２箇所に設置された避難所には５，２５６人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

石巻市長から国交省へのメッセージ

発災から約２週間が経過し、ガレキにより閉ざされた道路の開通作業も進み、市内の幹線ルートはおおむね通れる状況となり、そして開通作業と歩調を合わせるように、被災した家屋や事業所などから津波で堆積した泥やガレキの除去、使えなくなった畳や家財などの撤去作業も次第に進み、一歩一歩ではありますが復興に向けて動きつつあります。

また避難所でも道路の開通やライフラインの復旧とともに、避難される方も徐々に減りつつありますが、津波被害により帰るところが無くなった方やライフラインの復旧が遅れている地区の方など依然多くの方が避難されております。

避難所では、市として最大限の努力を続けてはおりますが、行き届かず、国や自衛隊、県、NPO、市民ボランティア、そして近所の方々などのご支援ご協力が必要なところであります。

国土交通省からは、津波の浸水で対策本部をおく市庁舎が冠水により孤立していた時から、いち早く市の災対本部へリエゾンとして地方整備局の職員を派遣いただき、何かとご支援ご協力をいただいておりますが、今週は道路のガレキ除去のご支援や不足していたガソリンや軽油など油類の提供をいただきました。誠にありがとうございました。

東北･関東にも及ぶこの広域災害は、１市の努力では難しい問題課題が多く、その中で地方整備局の職員が市の災対本部に詰めて、現場の声を聴き、そして悩みを聴いて、国として積極的に対応いただけることは、たいへんすばらしい取組みであり、国土交通省の持つ中央と地方の結びつきの強さの賜物ではないかと感じております。

時間の経過とともに徐々に今回の地震・津波の恐ろしさと被害の爪痕の大きさがわかってまいりました。国土交通省のヘリから撮影した北上川河口部の写真には、松並木の美しい海岸線があった長面海岸が、津波のため消失しているのがわかります。

長年、先人の努力で整備した海岸や田畑、そして人々の暮らしが一瞬のうちに消滅してしまいました。長面海岸の背後に暮らす長面地区や釜谷、間垣地区などの多くの人が、今まで経験したことのない大津波により被災し、未だ行方不明者の数は極めて多く、現在、警察や自衛隊、消防団などの方々により捜索を進めていますが、一面、湖と化した現地では捜索は困難を極めています。

捜索を推進するためには、湛水した水を早く排水しなければなりませんが、是非、国・県そして関係する機関の皆様のご協力をいただきたく宜しくお願いいたします。

一面の湖となった北上川河口の長面地区（国土交通省ヘリ撮影）

平成23年3月26日

『菅原　気仙沼市長からのメッセージ』

「東北地方太平洋沖地震」は、東北地方に未曾有の大被害を及ぼしました。この大地震に伴い、「石巻市の牡鹿半島では、東南東方向に約5．3m移動し、約1．2m沈下した」との報道がありました。多くの尊い人命を奪い、漁港・港湾、道路、工場等事業所などの産業基盤が壊滅的な被害をうけた気仙沼市においても、大きな地盤変動があったものと思われます。

気仙沼市では、地震・津波・火事による災害からの復旧と復興に向け、今まさに市民と行政が一体となって全力で取り組んでいるところです。そのため、これからの安全で安心なまちづくりを考える上では、地震により生じた大規模かつ広範囲な地盤沈下などの情報が必要と考えているところです。

ついては、GPSによる正確な標高等の観測を早期に実施され、提供いただくことを切に期待しております。

宮古市長から

１．本日（３月２６日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３３２人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６１箇所に設置された避難所には４，９１４人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

女川町からのメッセージ

「女川町では、３月２５日現在２，５８４人が避難しています。
　避難所では、炊き出しの材料はありますが、それをよそうトレーが足りません。食事する際の紙皿、紙コップ、プラスチックのどんぶり、割り箸も不足しています。
　また、被災地では倒壊家屋等の木材が散乱しており、その撤去が終わらないと本格的な復旧が出来ない状況にあります。そのため、自衛隊で緊急復旧作業や建設会社数社が機械を持ち込み、復旧作業、捜索作業等にご協力をいただいています。さらなるご支援をお願いします。」

・女性の避難者の方から洗濯をしたいという要望があり、二槽式の洗濯機10台、物干し台と物干し竿（体育館で使用）を50セット欲しいとのこと。

いわき市長からのお願い

１．近況

・発災してから二週間が経ちました。浜通りは、過去に類を見ない巨大地震、大津波被害に加えて発事故の三大災害に見舞われております。また、原発事故に端を発し、風評被害も深刻な問題となおります。

屋外退避の３０㎞圏内が、市内のごく一部でありながら、市内全域を退避エリアと誤解し、物流がている状況となっています。

・市内の沿岸部では、大津波により避難生活を強いられており、また、市民生活においては、物流常化が急務となっております。いわき市のほとんどは３０㎞エリア外(屋内退避はいわき市北部で全面積比率０．６％)であり、原発の影響はほとんど無いことを理解していただきまして、物流を正常ていただきますよう、切にお願い申し上げます。

・常磐自動車道(いわき中央ICまで)、磐越自動車道、国道６号、国道４９号のいわきまでの主要道安全に通行できます。今までと変わりない物流経路を維持しています。どうかいわき市民３４万人常生活をお守り下さい。よろしくお願いします。

２．今必要なもの

・いわき市は広大な面積の中で３４万人の人たちが暮らしています。そのために移動手段として、欠かせないものとなっています。日常生活を行う上でガソリンの確保は急務です。灯油も不足してます。

・食料品においても、パックごはんや缶詰など長期保存食の支援をお願い致します。

・「市民生活の再建に向けた皆様の正しい理解とご支援」をよろしくお願いいたします。

平成２３年３月２７日現在

ご支援してくださる皆さまへ

～宮城県気仙沼市から救援物資についてのお願い～

全国各地から、また海外の方々から、温かい心のこもったご支援をいただき、大変感謝申し上げます。

気仙沼市内には、3 月 26 日現在で市内 98 箇所の避難所に約 13,300 人の避難者がおり、被災者の生活用品や食料などが不足していますが、お陰様で毛布は十分な数を確保できました。

そのため、現時点では、毛布の受け入れをご遠慮させていただいております。

現在、特に不足している物資は、次のとおりです。

皆さまのご支援をお願い申し上げます。（詳しくは、気仙沼市災害対策本部へお問い合わせ下さい）

〔食料〕	
	飲料水
	果物（ミカン・リンゴ・バナナなど）
	缶詰（おかず、フルーツなど）
	レトルト食品（おかゆ、カレー、おかず類など）
〔生活用品〕	
	乾電池（単 1・単 2）
	ラップ
	ガスボンベ（カセットコンロ用）
	トイレットペーパー
	紙おむつ（大人用）
	消毒用アルコール
	ウエットティシュー（ノンアルコールタイプ）
	ゴム手袋
	使い捨て食器（どんぶり・箸など）
	シャンプー（水不要のもの）
	尿取りパット
	お尻ふき
	介護用手袋（使い捨てタイプ）
	介護用エプロン（使い捨てタイプ）
	肌着（新品に限らせていただきます）
〔子ども用品〕	
	粉ミルク（アレルギー対応のものも含む）
	ベビー飲料

お問い合わせ：気仙沼市災害対策本部（TEL 0226-24-1369 または 0226-24-1379）

平成23年3月27日

『菅原　気仙沼市長からのメッセージ』

このたびの「東北地方太平洋沖地震」では、昨年12月19日に開通した唐桑道路が地域住民の避難ルートとして大きな役割を果たしたことから、災害時における緊急避難路の確保の観点からも三陸縦貫自動車道の必要性は極めて高いと、あらためて認識したところです。

さらに、これから復興計画を進める気仙沼市においては、まちづくりと地域の骨格をなす三陸縦貫自動車道の整備を一体的に考える必要があります。

つきましては、気仙沼市をはじめとした三陸沿岸地域の復興のため、現在、事業を進められている本吉気仙沼道路等の一日も早い開通を心より念願するとともに、南三陸町・気仙沼市・陸前高田市域における基本計画区間について、速やかに整備計画を決定いただきたく、要望申し上げます。

気仙沼市長

菅原茂

南三陸町長からお願い

1．本日（3月27日）の状況

南三陸町では今年の３月は例年にない寒さが続いています。今日で３月に入って８回目の雪の日となりました。例年、南三陸町は春の淡雪が１日ぐらい降って暖かい春に向かって行くのですが、今年の春は異常気象です。避難所にいる皆さんは、この寒さにも負けず元気に避難生活を送っております。これも全国の皆様の心からの応援の賜物だと思っています。

災害から半月余り経ちました。連日、沢山の自衛隊の皆さん、消防隊の皆さん、警察の皆さん、国土交通省の皆さんが復興に向けた活動を展開してもらっております。

今日、国土交通省東北地方整備局の徳山局長さんが当町に災害視察においで頂きました。町内の被災地を一緒に見て回りまして、あまりの惨状にただただ驚いておられました。「復興のために精一杯のご支援をする」という言葉を頂いて、大変心強く感じているところです。電気・水道がまだ通じておりませんが、昨日から仮庁舎で役場の業務の一部が始まりました。窓口サービスは２８日（月）からスタートします。さらに、新しい電柱の建柱が始まりました。その電柱を見て、復興への足取りを一歩踏み出した思いがする今日の南三陸町です。

2．今ほしいもの

今日現在では下記のものが不足しています。

〔食料品〕

- 味噌、しょうゆ、塩、コショウ、サラダオイル、マヨネーズ等の調味料
- 飲料水

宮古市長から

１．本日（３月２７日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３３２人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内５９箇所に設置された避難所には４，５５８人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

３月２７日（日）　大槌町　副町長（町長代行）のコメント

現在の大槌町の状況についてお知らせします。

昨日、管総理大臣から激励のお電話をいただきました。

私からは、ライフラインの復旧、ガソリンの流通、仮設住宅の設置、この３点について至急に手配していただくよう直接にお願いをいたしました。

仮庁舎については国土交通省の協力を得て、大槌小学校グラウンドに設置することを考えておりますが、ここも津波の被害を受けたため、自衛隊のご協力でガレキや流されてきた自動車の撤去作業を進めております。あまり時間はありませんが、４月１日からは新体制でスタートしたいと考えております。

このほか、町内の運動公園に大型テント（１，０００㎡）２基の設置作業を進めており、４月１日からはここを全国からいただいた救援物資等の集約拠点とし、住民への効率的な物資の輸送・配布に努めていきたいと考えています。

宮古市長から

１．本日（３月２８日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３４６人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内５９箇所に設置された避難所には４，５４２人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備考
ﾄﾞﾗ缶灯油給油ポンプ	本	5		手動
消火器	本	10	大き目	(油火災用)

女川町から

※必要な文房具（災対本部運営用）

ペン類【鉛筆、シャープペン、マジック】
上質紙（コピー紙）
上質紙（厚）
ノート
シャープペンの替芯
鉛筆削り
消しゴム
デジカメ
デジカメ用メモリ
バインダー
ファイル
朱肉
トナー （リコーイマジオ　商品番号63－6437）
インクジェット　エプソンPM－3300C用　黒・カラー
ホワイトボード
ホワイトボード用ペン
ホワイトボード用消板
乾電池（単一から単四型）
セロテープ（台もあれば）
ガムテープ
ホチキス
カーボン紙
ゴム印マット
模造紙
ティッシュペーパー
マスク
軍手
ゴム手袋
合羽
長靴
作業服

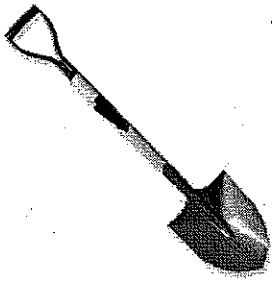
東北地方太平洋沖地震に係る物資の要望について

野田村役場は現在、電話・ＦＡＸが不通となっているため、連絡は当面の間、久慈市役所までお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部政策推進課
電　話：0194-52-2115（直通）
ＦＡＸ：0194-52-3653

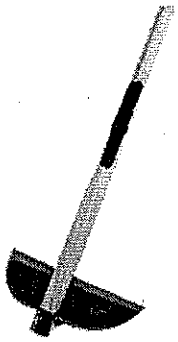
◎被災家屋の泥処理用

・一輪車　　500 台
・角スコップ（幅 25cm 程度）　1,000 丁
・剣スコップ　1,000 丁
・ジョレン　　1,000 本
・レーキ　　1,000 本
・高圧洗浄機　50 台

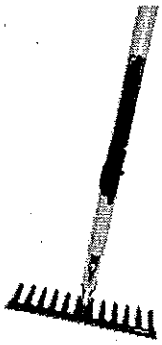


剣スコップ

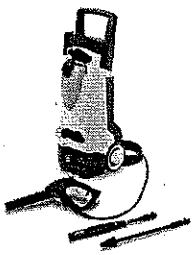
角スコップ



ジョレン



レーキ



高圧洗浄機

◎被災者の生活用

・カセットコンロ　500 個
・カセットボンベ（１セット３本）　500 セット
・衣類乾燥機　15 台
・こたつ　50 台

報道機関
各　位

平成23年3月28日

支援物資の受け入れについて

平成23年3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震に関し、水、食料及び生活関連物資等の支援物資の御提供をいただき誠にありがとうございます。

飲料水、毛布は、十分な数を確保できておりますので、現時点では受け入れを中止させていただきます。なお、以下の物資については、引き続き御支援をお願い申し上げます。

また、団体（法人、地域団体等）からの物資の提供につきましては、あらかじめ、情報を伺ってから受け付けておりますので、御理解をいただきたいと存じます。

なお、個人の方からの物資の提供につきましては、混乱を避けるため、お断りさせていただいております。お住まいの自治体や社会福祉協議会などでも支援物資の支援を行っている場合もございますので、そちらを通じて、御協力お願い申し上げます。

1　お願いする支援物資

- 缶詰（おかず等）
- レトルト食品（お粥、カレー、おかず類等）

○　連絡先　いわき市災害対対策本部　救援物資担当　（0246－22－0600）

3月２８日（月）　大槌町　副町長（町長代行）のコメント

朝晩は厳しい寒さが続いていますが、日中は春らしい日射しを感じることも出来ました。

町では災害対策本部から住民への情報提供のため広報誌として「おおつち」を先週末から発行しています。被災状況だけでなく電気、水道、道路などライフラインの復旧状況や、仮設住宅の入所希望調査、物資の配給、病院への無料バスの運行などの情報を掲載しています。復旧にはまだまだ時間がかかりますが、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

今ほしいもの

４月からは仮庁舎で役場の通常業務を始めたいと考えていますが、今までの庁舎は津波で破壊され中にあった一切の備品・物品類は流されてしまいました。

今、一番必要なものは役場機能の復旧であり、そのためには、机を始め、椅子、書庫、電話機等様々なものが必要となっています。

役場で必要としているものを一覧表にいたしました。この中で皆様からご協力いただけるものがあれば、一つでも結構ですので、大槌町災害対策本部までご連絡ください。

大槌町仮庁舎に係る設備、備品関係一覧

1. 机
   ① 両袖机(課長、主幹、班長用) 35個
   ② 片袖机(課員用) 100個
   ③ 両袖机(町長、副町長用) 2個
2. 会議室用机 折り畳み式(3人掛け) 25個
3. 椅子
   ① 肘掛付き椅子(課長、主幹、班長用) 35脚
   ② 肘掛無し椅子(課員用) 100脚
   ③ 肘掛付き椅子(町長、副町長用) 2脚
4. 待合室用椅子 長椅子タイプ(5人掛け) 5個
5. 会議室用椅子 折り畳み式 80個
6. 町長・副町長室来客用応接セット テーブル(6人用) 椅子 8脚を1セット
7. 書庫 クロガネ(AKPファイリングシステム用 3段) 25個×8課＝200個
8. 電話機及び交換機 交換機 1台、電話機 45台
9. カラーコピー機 ネットワーク対応型複合機(60枚/分) 8基(FAX兼用)
10. ストーブ 石油ストーブ(8～10畳用) 16個(ブルーヒーター)
11. ロッカー 140人分(1台何人用かは問わない)
12. ホワイトボード 7個
13. 衝立 10個
14. 瞬間湯沸かし器 2個
15. ガスコンロ(1口) 2個
16. 簡易的な流し台 2個
17. 冷蔵庫(2ドア) 5台
18. 電気ポット 8台
19. 電子レンジ 7台
20. 32インチテレビ(衛星放送視聴可能) 15台
21. 簡易ベッド(折り畳み式) 10個
22. パソコン ノート型(内部系 120台＋住基系 40台＝160台)
    ① OS Windows7
    ② 画面サイズ 15～17インチ
    ③ ソフト MS office (Word、Excel)
    ④ リース契約について
    (物件の滅失)
    第○条 天災地変等、甲乙双方の責めに帰し難い理由により物件の全部又は一部が滅失・棄損した場合、乙はその物件にかかる賃借料のうち、その滅失・棄損した日の翌月以降の賃貸借料を甲に請求できないものとする。→ 契約の滅失
23. エアコン エアコン(8～10畳用) 20基

大槌消防署仮庁舎備品一覧

番号	建物階層	部屋名	品名	個数	寸法	備考
1	1階	事務室	事務机	合計20個		両袖2、片袖18
2			事務椅子	合計20個		肘付2、肘なし18
3			書庫	5個	巾120×奥行40×高さ180	引き戸式2段スチール製ガラス戸上段 スチール戸下段
4			長机	5脚	巾180×奥行45×高さ70	
5			折りたたみ椅子	15脚		肘なしパイプ
6			ホワイトボード	1台		脚付両面ホワイトボード (片面は月行事予定)
7			エアコン	2台	20畳用	
8			石油ストーブ	2台		ブルーヒーター
9			洗濯機	1台		
10			テレビ	1台	42型	情報収集用
11			電話	合計7機		事務室5機 通信室2機
12			複合機	1台		プリンタ兼コピー機
13			衝立	3枚	巾180×高さ180	間仕切り用
14		通信室	事務机	2脚		片袖2
15			事務椅子	2脚		肘なし2
16			FAX機	1機		
17			テレビ	1台	26型	
18		浴室	風呂	1個		
19			シャワー	1個		
20			ボイラー	1個		
21		台所	ガスレンジ	1個	2口魚焼付	LP
22			流し台	1個	巾180×奥行60×高さ80 シンク70×50	
23			ガス台	1個	巾60×奥行60×高さ65	
24			電子レンジ	1個	出力1000W	
25			食器棚	1個	巾120×奥行45×高さ180	
26			冷蔵庫	1個	300リットル	
27			電動ポット	2個		
28			ガス給湯器	1台		LPガス用
29	2階	仮眠室・待機室	ベッド	20人分		
30			寝具一式	20人分	敷布団、掛け布団、毛布、枕	
31			エアコン	2個	20畳用	
32			ロッカー	35人分	巾45×奥行50×高さ180	
33			テレビ	1台	42型	

福島県いわき市における店舗等の状況
（3月28日）

○大手スーパーは、市内数十店舗のうち約過半数が開業（営業時間短縮）

○コンビニは、閉店している店舗もあるが、順次開店店舗が増加中。

○ホームセンター・大手ドラックストア・大型衣料品店は、市内店舗のうち約半数が開業。

○ガソリンスタンドは、約130店舗のうち、30～40店舗開業。

○医療機関は、市内病院は通常どおり。その他の病院も多数で通常どおりの診療。

○水道は市内の約63%で復旧（依然4万8千戸で断水）

○電気・ガスは、津波による被災箇所等以外はほぼ復旧。

宮古市長から

1．本日（３月２９日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３５０人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６１箇所に設置された避難所には４，６５８人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

2．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

３月２９日（火）　大槌町　副町長（町長代行）のコメント

災害対策本部では、朝夕のミーティングを行っていますが、行政機関だけでなく、ボランティア団体等の活動も盛んになってきたことから、これら団体も含めて各機関がしっかりと連携して対応することが必要だと考えています。

今日は、町内の小学校の卒業式が行われます。

子供たちは、現在は厳しい環境に置かれていますが、この災害に負けないよう、強く、たくましく、思いやりのある大人に成長し、将来の大槌町を支えてくれるものと信じております。

今ほしいもの

- 避難者への給食、炊き出しに使うラップ類（サランラップ、ママラップ等）、洗剤類が不足しています。また、おにぎり用の塩とおにぎりを運ぶためのクーラーボックスについても不足しています。提供をお願いします。
- 昨日、役場で必要とする備品類の提供をお願いしたところですが、連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

  大槌町災害対策本部　０８０－１８５１－４９１１

よろしくお願いします。

大槌町仮庁舎に係る設備、備品関係一覧

1. 机
   ① 両袖机(課長、主幹、班長用) 35個
   ② 片袖机(課員用) 100個
   ③ 両袖机(町長、副町長用) 2個
2. 会議室用机 折り畳み式(3人掛け) 25個
3. 椅子
   ① 肘掛付き椅子(課長、主幹、班長用) 35脚
   ② 肘掛無し椅子(課員用) 100脚
   ③ 肘掛付き椅子(町長、副町長用) 2脚
4. 待合室用椅子 長椅子タイプ(5人掛け) 5個
5. 会議室用椅子 折り畳み式 80個
6. 町長・副町長室来客用応接セット テーブル(6人用) 椅子 8脚を1セット
7. 書庫 クロガネ(AKFファイリングシステム用 3段) 25個×8課＝200個
8. 電話機及び交換機 交換機 1台、電話機 45台
9. カラーコピー機 ネットワーク対応型複合機(60枚/分) 8基(FAX兼用)
10. ストーブ 石油ストーブ(8～10畳用) 16個(ブルーヒーター)
11. ロッカー 140人分(1台何人用かは問わない)
12. ホワイトボード 7個
13. 衝立 10個
14. 瞬間湯沸かし器 2個
15. ガスコンロ(1口) 2個
16. 簡易的な流し台 2個
17. 冷蔵庫(2ドア) 5台
18. 電気ポット 8台
19. 電子レンジ 7台
20. 32インチテレビ(衛星放送視聴可能) 15台
21. 簡易ベッド(折り畳み式) 10個
22. パソコン ノート型(内部系 120台＋住基系 40台＝160台)
    ① OS Windows7
    ② 画面サイズ 15～17インチ
    ③ ソフト MS office (Word、Excel)
    ④ リース契約について
    (物件の滅失)
    第〇条 天災地変等、甲乙双方の責めに帰し難い理由により物件の全部又は一部が滅失・棄損した場合、乙はその物件にかかる賃借料のうち、その滅失・棄損した日の翌月以降の賃貸借料を甲に請求できないものとする。→ 契約の滅失
23. エアコン エアコン(8～10畳用) 20基

大槌消防署仮庁舎備品一覧

番号	建物階層	部屋名	品名	個数	寸法	備考
1	1階	事務室	事務机	合計20個		両袖2、片袖18
2			事務椅子	合計20個		肘付2、肘なし18
3			書庫	5個	巾120×奥行40×高さ180	引き戸式2段スチール製ガラス戸上段 スチール戸下段
4			長机	5脚	巾180×奥行45×高さ70	
5			折りたたみ椅子	15脚		肘なしパイプ
6			ホワイトボード	1台		脚付両面ホワイトボード (片面は月行事予定)
7			エアコン	2台	20畳用	
8			石油ストーブ	2台		ブルーヒーター
9			洗濯機	1台		
10			テレビ	1台	42型	情報収集用
11			電話	合計7機		事務室5機 通信室2機
12			複合機	1台		プリンタ兼コピー機
13			衝立	3枚	巾180×高さ180	間仕切り用
14		通信室	事務机	2脚		片袖2
15			事務椅子	2脚		肘なし2
16			FAX機	1機		
17			テレビ	1台	26型	
18		浴室	風呂	1個		
19			シャワー	1個		
20			ボイラー	1個		
21		台所	ガスレンジ	1個	2口魚焼付	LP
22			流し台	1個	巾180×奥行60×高さ80 シンク70×50	
23			ガス台	1個	巾60×奥行60×高さ65	
24			電子レンジ	1個	出力1000W	
25			食器棚	1個	巾120×奥行45×高さ180	
26			冷蔵庫	1個	300リットル	
27			電動ポット	2個		
28			ガス給湯器	1台		LPガス用
29	2階	仮眠室・待機室	ベッド	20人分		
30			寝具一式	20人分	敷布団、掛け布団、毛布、枕	
31			エアコン	2個	20畳用	
32			ロッカー	35人分	巾45×奥行50×高さ180	
33			テレビ	1台	42型	

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備考
車載拡声器	アンプ・スピーカー・マイク一式	2		無線ハンドマイク

いわき市長からのお願い

１．本日(３月２９日)の状況

・平成 23 年 3 月 11 日に発生した平成 23 年東北地方太平洋沖地震に関し、水、食料及び生活関連物資等の支援物資の御提供をいただき誠にありがとうございます。

・災害発生後 2 週間が経過し、未だ十分に安定した状況とは言えませんが、ガソリンの供給が徐々に増えはじめ、市内のスーパーやコンビニエンスストアなども徐々に再開しつつあります。

・しかし、原発事故に端を発した風評被害は未だに解消されていません。いわき市のほとんどは３０㎞エリア外(屋内退避はいわき市北部で全体の面積比率０．６%)であり、原発の影響はほとんど無いことを御理解ください。

・常磐自動車道(いわき中央 IC まで)、磐越自動車道、国道６号、国道４９号のいわきまでの主要道路は安全に通行できます。今までと変わりない物流経路を維持しておりますので、一層の物流の安定、正常化を切にお願い申し上げます。

２．今必要なもの

・いわき市は広大な面積の中で３４万人の人たちが暮らしています。市内の沿岸部では大津波により避難生活を強いられており、また、避難所以外においても、買い物に行けない事情がある方々や一人暮らしの高齢者など、地域において日常生活の支援が必要な方々がおられます。いわき市では、これらの方々に食糧や生活用品等をお届けしています。

・ このため、長期保存できる食料として、以下の物資の御支援をお願い申し上げます。

　○缶詰（おかず等）

　○レトルト食品（お粥、カレー、おかず類等）

・なお、飲料水、毛布は十分な数を確保できておりますので、現時点では受け入れを中止させていただきます。また、個人の方からの物資の提供につきましては、混乱を避けるため、お断りをさせていただいております。

・ 物資の御提供にあたっては、以下の情報も御確認ください。皆様の御理解と御協力を御願い申し上げます。

http://www.city.iwaki.fukushima.jp/koho/010598.html

田野畑村長からのメッセージ

本村は東北地方太平洋沖地震津波により、大きな被害を受けました。全壊・半壊・浸水など罹災戸数は582戸（うち住居は267戸）、死亡者は14人、行方不明者は26人に上り、800人を超える方が村の公共施設や親戚宅などに避難しています。全国の皆様から寄せられた支援物資により、当面の食糧、水については何とか目途が立ちました。今後は、避難者の栄養状態や、肉体・精神的ストレスの蓄積が憂慮されるところですが、村民皆が協力しあいながら、復旧への階段を一つずつ上っているところです。これまで全国の皆様からいただいた沢山の励ましに心からお礼申し上げます。今後とも格別のご支援をいただきますようお願いいたします。

宮古市長から

１．本日（３月３０日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３５７人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内６１箇所に設置された避難所には４，６８１人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

宮古市長から

１．本日（３月３１日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３６２人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内５９箇所に設置された避難所には４，６０９人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

H23.3.31 現在

東北地方太平洋沖地震に係る物資の要望について

連絡先：野田村災害対策本部
電話：0194-78-2111　ＦＡＸ：0194-78-3995

※　現在、野田村役場は電話・ＦＡＸが不通となっているため、連絡当面の間、久慈市役所までお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部政策推進課
電話：0194-52-2115　ＦＡＸ：0194-52-3653

◎被災家屋の泥処理用

- 一輪車　500台
- 角スコップ（幅25cm程度）　1,000丁
- 剣スコップ　1,000丁
- ジョレン　1,000本
- レーキ　1,000本
- 高圧洗浄機　50台

剣スコップ

角スコップ

ジョレン

レーキ

高圧洗浄機

◎被災者の生活用

- ~~カセットコンロ　500個~~　※搬入済み
- ~~カセットボンベ（1セット3本）　500セット~~　※搬入済み
- 衣類乾燥機　15台
- こたつ　50台

3月31日（木）　大槌町　副町長（町長代行）のコメント

避難されている方々の吉里吉里の仮設住宅建設にあたっては、順調に進んでいます。これも各機関の協力のたまものと思っています。

引き続きよろしくおねがいします。

今ほしいもの

- 関係機関の協力により物資集約拠点ができました。が、提供いただいている生鮮食品を保管する冷蔵庫・冷凍庫がありません。今後、気候が温暖になる時期に向けて、なるべく大型の冷蔵庫・冷凍庫をいただきたい。
- また、同じく物資集約拠点で使用する棚、ラック類がありません。限られたスペースを有効活用するために、ぜひとも必要です。
- 連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

  大槌町災害対策本部　０８０－１８５１－４９１１

石巻市長からのメッセージ

今週末から４月に入るというのに石巻は寒い日が続いております。被災してから３週間が経ち、石巻は復興に向けて一歩一歩着実に市民も企業も明日へ向かって進み出しております。

今月 24 日に石巻商工会議所で開かれた「石巻経済復興会議」では、経済関係者約 120 人が集まり早期復興を目指して復興決議を採択しました。具体には、①港湾、道路、漁港、鉄道などの早期インフラ整備、②金融特別措置、③長期資金の導入、④まちづくり資金による支援、について、国、県などの行政や金融機関などの応援を得て、１日も早い経済復興を図るものであり、市としても積極的に支援して参りたいと考えております。

４月１日には、石巻港整備･利用促進期成同盟会と石巻商工会議所、石巻港企業連絡協議会などの主催による「石巻港早期復興に向けた団結式」が開かれる予定であり、日本製紙石巻工場をはじめとする各企業の皆様とともに復興に向けてがんばりたいと思います。

不足しているガソリンや軽油などの石油類については、今なお需要が供給に追い付かず、ガソリンスタンドでは給油までに長蛇の列をつくらなければならない状況が相変わらず続いています。

現在、災害支援のため全国や世界から数多くの支援団体やボランティア、行政などが石巻に集まっており、彼らの活動に必要な燃料も足りない状態です。その他にも、避難所への物資運搬やガレキの除去作業、行方不明者の捜索活動、人工透析のための移動手段として車に頼らざるを得ない多くの市民、団体でガソリンや軽油が不足しています。この状況を打破するため、石油類の安定的な搬送、供給をぜひお願いいたします。また緊急的に必要な量としてガソリン 20ｋℓ、軽油 10ｋℓを御支援いただきたくお願いいたします。

津波により北上川や富士川の堤防が破堤するという甚大な被害を受けた北上川河口部右岸の長面、釜谷、間垣地区について、現在、津波で破堤した北上川や富士川から地区へ流れ込む水を止め、昨日から国土交通省の５台の排水ポンプ車により毎分４２０㎥という勢いで排水活動が始まりました。行方不明者の捜索にあたっている地元消防団や警察そして自衛隊の方々、そして何よりも一刻も早く不明者の行方を案じている御親族の方が排水活動の着手をたいへん喜んでおります。止水工事そして排水活動に尽力いただいている国土交通省そして宮城県に御礼を申し上げますとともに、引き続きよろしくお願いいたします。

南三陸町長からお願い

１．本日（3月３１日）の状況

３月３１日は平成２２年度の節目にあたります。
今日、役場職員１７名の退職者に対して、辞令交付式を午後４時より電気のないプレハブの一室で行いました。
例年ですと、感謝状を渡し花束を贈呈し、その上で辞令交付をするのですが、今日の辞令交付式では薄い紙一枚を渡して、４０数年の公務員生活の締めになりました。南三陸町では、２３８名の役場職員のうち、このたびの津波で３６名の職員が行方不明です。そして、１７名の今日の退職者をあわせて５３名の職員が役場を去りました。
残された職員で力をあわせて、南三陸町の復興に向けて心をひとつにして、頑張っていかなければならないと思います。

南三陸町では依然９５００人の皆さんが避難所生活をしています。
よりよい環境を目指すために町として集団避難を進めています。
仮設住宅ができるまでの一定の期間ではありますが、町を離れる寂しさ、つらさは５１年前にチリ地震津波で被災し疎開した私自身の思いと重なり、つらいものがあります。しかしながら、よりよい環境の中で避難生活をおくっていただくためにも、避難所生活をおくっている皆様にはご協力をお願いしたいと思います。
なお、集団避難の第一弾の出発は４月３日、約１１２０名の方が新しい避難所へ旅立ちます。
避難される皆さんのご健康を心からお祈り申しあげます。

２．今ほしいもの

今日現在では下記のものが不足しています。
〔食料品〕
- 生鮮食品、味噌、しょうゆ、塩、コショウ、サラダオイル、マヨネーズ等の調味料
- 飲料水

岩手県久慈市

復旧・復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願い致します。

連絡先：久慈市総合政策部（産業開発担当）
電　話：0194-52-2369（直通）
ＦＡＸ：0194-52-3653

名称	仕様	数量
プレハブ	3坪～5.2 坪程度	5
発電機	2.5kw以上	5
投光器	ハロゲン 250w　脚付	5
エンジンポンプ（4st）	口径 25mm程度	3
高圧洗浄機（エンジン式）	水圧 10Mpa 以上	10
水切モップ	50cm程度	100
なた、のこ	2丁差鞘付	20
反射ベスト		30
バリケード（単管）	2m	300
バリケード（脚）	2脚1組	150
誘導棒	赤点滅	60
トラロープ	100mm巻	5
バリケード点滅灯	赤点滅	150
セーフティーコーン		60
看板（段差有）	w550mm×H1,400mm	30
看板（徐行）	w550mm×H1,400mm	30
看板（路肩注意）	w550mm×H1,400mm	30

女川町から

避難所生活において、健康を害している人が続発傾向にありますので、衛生面上から給水車からの受給する給水タンク500リットル位の提供をお願いします。個数は10個位です。

宮古市長から

１．本日（４月１日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３６８人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内５８箇所に設置された避難所には４，５６３人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

宮古市長から

１．本日（４月２日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３７０人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内５８箇所に設置された避難所には４，５６３人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

４月１日（金）　大槌町　副町長（町長代行）のコメント

本日から新年度が始まり組織としても新体制で活動していきます。これまでどおり各機関・関係者の協力とともに、この難局を乗りきっていきたいと思っています。

引き続きよろしくおねがいします。

女川町からのお願い

各避難所において、洗濯物を干す用具が不足していますので、下記の提供をお願いします。

記

1. 洗濯ばさみ　　3000個程度
2. ハンガー　　1000個程度
3. 物干しハンガー　　500個程度

連絡先　女川町災害対策本部
電話　0225－52－3131
FAX　0225－53－5483

宮古市長から

１．本日（４月３日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３７７人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内４９箇所に設置された避難所には４，３３０人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・トイレットペーパー
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・大人用オムツ、尿取りパット
・使い捨てカイロ
・軍手、ゴム手袋
・生理用品、ハンドクリーム
・発泡の器

岩手県久慈市

復旧・復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部(産業開発課)
電　話：0194-52-2369
ＦＡＸ：0194-52-3653

名　　称	仕　　様	数　量	備考
プレハブ	3～5.2 坪程度	5	4/1 掲示
発電機	2.5kw 以上	5	
投光器	ハロゲン 250w 脚付	5	
エンジンポンプ(4st)	口径 25mm 程度	3	
高圧洗浄機(エンジン式)	水圧 10Mpa 以上	10	
水切モップ	50 ㎝程度	100	
なた、のこ	2 丁差鞘付	20	
反射ベスト		30	
バリケード(単管)	2m	300	
バリケード(脚)	2 脚 1 組	150	
誘導棒	赤点滅	60	
トラロープ	100m 巻	5	
バリケード点滅灯	赤点滅	150	
セーフティーコーン		60	
看板(段差有)	W550mm×H1,400mm	30	
看板(徐行)	W550mm×H1,400mm	30	
看板(路肩注意)	W550mm×H1,400mm	30	
炊飯器	5.5 合炊き	50	4/3 掲示
洗濯機	2 槽式 4 キロ	30	
ガステーブル	2 バーナーグリル付(LPG)	30	
反射式ストーブ	6 畳用	50	
投光器	300w 以上	44	

発電機	3kw	19	4/3 掲示
単　管	5,000mm　φ50mm	100	
〃	4,000mm　φ50mm	100	
〃	3,000mm　φ50mm	100	
〃	2,000mm　φ50mm	100	
緊結金具	直交クランプ	100	
〃	自在クランプ	100	
〃	三連直交クランプ	100	
〃	三連自在クランプ	100	
水中ポンプ	口径 50mm、揚水量 0.195m3/分、揚程 8m、電動機 0.75kw×200v×50Hz	2	
海水殺菌装置	8t/h	10	
ブルーシート	一番大きいサイズ	85	
ポンプ車	小型	1	
ブロワー	1t 水槽用	20	
仮設トイレ	900mm×1,450mm×2,500mm	10	

宮古市長から

１．本日（４月４日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３７８人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内４３箇所に設置された避難所には３，７６２人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・軍手、ゴム手袋
・発泡の器

女川町からのお願い

連絡先　女川町災害対策本部
電話　0225－52－3131
FAX　0225－53－5483

自衛隊によるお風呂の設営で、入浴ができるようになりましたが、入浴に必要な消耗品等が不足していますので、下記の提供をお願いします。

記

1. シャンプー	500個程度
2. リンス	500個程度
3. ボディーソープ	500個程度
4. 石鹸	1000個程度
5. 洗濯洗剤	500個程度
6. ゴミ袋	5000枚程度

南三陸町長からお願い

１．本日（４月４日）の状況

４月４日、今日の南三陸町は季節はずれの雪が降っています。避難所の皆さんにとって、大変厳しい寒さとなっています。

昨日４月３日から、避難所生活を送っている皆さんの集団避難が始まりました。ベイサイドアリーナに栗原市、登米市、大崎市、加美町から２２台のバスが集結し、昼過ぎに二次避難所へ出発しました。

私も一台一台のバスに乗り込み、「仮設住宅が出来るまでの一定期間、環境の良い場所で過ごして下さい。そして、一日も早く仮設住宅を建設してお迎えいたしますので、しばらくの間、我慢をして下さい。行ってらっしゃい。」と声をかけさせて頂きました。涙涙の出発（たびだち）でした。

我々も、今日避難された皆さんを一日も早くお迎えできるよう努力していきたいと思います。

２．今ほしいもの

今日現在では下記のものが不足しています。

〔食料品〕

- 生鮮食品、味噌、しょうゆ、塩、コショウ、サラダオイル、マヨネーズ等の調味料
- 飲料水

宮古市長から

１．本日（４月５日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３８４人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内４２箇所に設置された避難所には３，６２３人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・軍手、ゴム手袋
・発泡の器

宮古市長から

１．本日（４月６日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３８６人となり、今後更に増加することが予想されます。
また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内４２箇所に設置された避難所には３，６２３人が避難しています。
市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が非常に困難な状況となっています。
現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。
・衣類（下着）、靴下
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・軍手、ゴム手袋
・発泡の器

宮古市長から

１．本日（４月７日）の状況

宮古市では、大津波により多くの尊い命が犠牲になりました。現在確認された死者の数は３８６人となり、今後更に増加することが予想されます。

また、大津波により建物の流失・倒壊、道路や電気・水道・通信などのライフラインが切断されたため、市内４２箇所に設置された避難所には３，５９０人が避難しています。

市民生活では、食料や灯油・ガソリンなどの燃料の調達が困難な状況となっています。

現在、自衛隊や国・県など関係機関の協力を得ながら行方不明者の捜索、ライフラインの復旧を進めています。

２．今ほしいもの

県内外の自治体、企業、個人から多くの支援をいただき感謝申し上げます。
現在、避難所では次の用品が不足しています。

・衣類（下着）、靴下
・缶詰
・カップラーメン、インスタントスープ・味噌汁
・野菜
・石けん、洗剤
・軍手、ゴム手袋
・発泡の器

岩手県久慈市

復旧・復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部(産業開発課)
電　話：0194-52-2369
ＦＡＸ：0194-52-3653

名　　称	仕　　様	数　量	備考
プレハブ	3～5.2 坪程度	5	4/1 掲示
発電機	2.5kw 以上	5	
投光器	ハロゲン 250w 脚付	5	
エンジンポンプ(4st)	口径 25mm 程度	3	
高圧洗浄機(エンジン式)	水圧 10Mpa 以上	10	
水切モップ	50 ㎝程度	100	
なた、のこ	2 丁差鞘付	20	
反射ベスト		30	
バリケード(単管)	2m	300	
バリケード(脚)	2 脚 1 組	150	
誘導棒	赤点滅	60	
トラロープ	100m 巻	5	
バリケード点滅灯	赤点滅	150	
セーフティーコーン		60	
看板(段差有)	W550mm×H1,400mm	30	
看板(徐行)	W550mm×H1,400mm	30	
看板(路肩注意)	W550mm×H1,400mm	30	
炊飯器	5.5 合炊き	50	4/3 掲示
洗濯機	2 槽式 4 キロ	30	
反射式ストーブ	6 畳用	50	
投光器	300w 以上	44	

発電機	3kw	19	4/3 掲示
単　管	5,000mm　φ50mm	100	
〃	4,000mm　φ50mm	100	
〃	3,000mm　φ50mm	100	
〃	2,000mm　φ50mm	100	
緊結金具	直交クランプ	100	
〃	自在クランプ	100	
〃	三連直交クランプ	100	
〃	三連自在クランプ	100	
水中ポンプ	口径 50mm、揚水量 0.195m3/分、揚程 8m、電動機 0.75kw×200v×50Hz	2	
海水殺菌装置	8t/h	10	
ブルーシート	一番大きいサイズ	85	
ポンプ車	小型	1	
ブロワー	1t 水槽用	20	
仮設トイレ	900mm×1,450mm×2,500mm	10	

岩手県久慈市

復旧・復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部(産業開発課)
電　話：0194-52-2369
ＦＡＸ：0194-52-3653

名　　称	仕　　様	数　量	備考
プレハブ	3～5.2 坪程度	5	4/1 掲示
発電機	2.5kw 以上	5	
エンジンポンプ(4st)	口径 25mm 程度	3	
高圧洗浄機(エンジン式)	水圧 10Mpa 以上	10	
水切モップ	50 ㎝程度	100	
なた、のこ	2 丁差鞘付	20	
バリケード(単管)	2m	300	
バリケード(脚)	2 脚 1 組	150	
誘導棒	赤点滅	60	
バリケード点滅灯	赤点滅	150	
セーフティーコーン		60	
炊飯器	5.5 合炊き	30	4/3 掲示
洗濯機	2 槽式 4 キロ	30	
反射式ストーブ	6 畳用	50	
投光器	300w 以上	29	
発電機	3kw	19	
単　管	5,000mm　φ50mm	100	
〃	4,000mm　φ50mm	50	
〃	3,000mm　φ50mm	100	
〃	2,000mm　φ50mm	100	
水中ポンプ	口径 50mm、揚水量 0.195m3/分、揚程 8m、電動機 0.75kw×200v×50Hz	2	

海水殺菌装置	8t/h	10	4/3 掲示
ブルーシート	一番大きいサイズ	15	
ポンプ車	小型	1	
ブロワー	1t 水槽用	20	
仮設トイレ	900mm×1,450mm×2,500mm	10	

平成23年4月8日

支援物資の受け入れについて

東日本大震災に際し、本市においては、国、県等の自治体、多くの個人の方々から支援物資が多く寄せられており、避難所にいる方や要援護者などの市民の皆様のほか、周辺自治体から避難されている方々に支援物資を配布しているところです。

現在、支援物資のうち、飲料水、米、毛布、衣類、マスク（大人用）、オムツは十分な数量を確保できておりますので、現時点では受け入れを中止させていただいています。

なお、以下の物資については、団体（法人、地域団体等）に限り、受け入れています。

今後も、被災者等の生活支援に、市民・職員一丸となって取組んでまいりますので、御支援をよろしくお願い申し上げます。

【お願いする支援物資】

○　缶詰（おかず類）

○　レトルト食品（おかず類）

いわき市災害対策本部救援物資担当
電話２１－１１９０

東北地方太平洋沖地震に係る物資の要望について

野田村役場は現在、電話・ＦＡＸが不通となっているため、連絡は当面の間、久慈市役所までお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部政策推進課
電　話：0194-52-2115（直通）
ＦＡＸ：0194-52-3653

◎被災家屋の泥処理用
・一輪車　　500 台
~~・角スコップ（幅 25cm 程度）　1,000 丁~~　※搬入済み
・ジョレン　　1,000 本
・レーキ　　1,000 本
・高圧洗浄機　50 台

剣スコップ

角スコップ

ジョレン

レーキ

高圧洗浄機

◎被災者の生活用
・衣類乾燥機　15 台
・こたつ　50 台
~~・カセットコンロ　500 個~~　※搬入済み
~~・カセットボンベ（１セット３本）　500 セット~~　※搬入済み

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備　考
カッパ	着	300	L	
〃	〃	200	LL	
軍手	足	1500		
長靴	足	150	26cm	
〃	〃	200	27cm	
〃	〃	150	28cm	
まきり(小刀)	本	200		ロープ、魚網等の切断に使用

担　当:水産商工課長　伊藤

連絡先:090-4304-9042

目的　：　漁業者による漁港内の清掃作業実施のため

岩手県久慈市

復旧・復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願いいたします。

連絡先：久慈市総合政策部(産業開発課)
電　話：0194-52-2369
ＦＡＸ：0194-52-3653

名　　称	仕　　様	数　量	備考
プレハブ	3～5.2 坪程度	5	4/1 掲示
発電機	2.5kw 以上	5	
エンジンポンプ(4st)	口径 25mm 程度	3	
高圧洗浄機(エンジン式)	水圧 10Mpa 以上	10	
水切モップ	50 ㎝程度	100	
なた、のこ	2 丁差鞘付	20	
バリケード(単管)	2m	300	
バリケード(脚)	2 脚 1 組	150	
誘導棒	赤点滅	60	
バリケード点滅灯	赤点滅	150	
セーフティーコーン		60	
投光器	300w 以上	29	4/3 掲示
発電機	3kw	19	
単　管	5,000mm　φ50mm	100	
〃	4,000mm　φ50mm	50	
〃	3,000mm　φ50mm	100	
〃	2,000mm　φ50mm	100	
水中ポンプ	口径 50mm、揚水量 0.195m3/分、揚程 8m、電動機 0.75kw×200v×50Hz	2	
海水殺菌装置	8t/h	10	
ブルーシート	一番大きいサイズ	15	
ポンプ車	小型	1	
ブロワー	1t 水槽用	20	
仮設トイレ	900mm×1,450ｍｍ×2,500mm	10	

宮古市長から

○４月８日以降は、下記ホームページに掲示しております。

http://www.city.miyako.iwate.jp/

大槌町から情報発信

平成２３年４月１４日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

今回の大地震において津波で役場が壊滅し町長はじめ職員３２名が犠牲になり、現在１１０名で震災対応を実施しております。震災から１ヶ月が過ぎ町民の疲れもピークに達している現状です。

一日でも早いライフラインの復旧、仮設住宅の建設により町民の皆さんが生活できるよう頑張っているところです。

３月２１日付けの「大槌町から情報発信」において今すぐ必要な物として、「下着・学用品」の提供をお願いしておりましたが、全国の皆様の善意によりたくさんの物資が集まりました。心より感謝申し上げます。

ご提供いただいた「学用品」は、現在、児童への配布作業を進めております。

「学用品」につきましては、ひとまず受け入れを中止とさせていただきます。

今後必要な物がありましたら「大槌町から情報発信」にてお伝えさせていただきます。

大槌町から情報発信　　平成２３年4月１５日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

３月３１日付け情報発信において「今ほしいもの」として提供をお願いしている物資のうち物資集約拠点で使用する棚・ラック類がまだまだ足りません。

限られたスペースを有効活用するため

●スチール棚

●スチールラック

●キャビネット

などの収納用品の提供を是非ともお願いします。

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０８０－１８５１－４９１１

大槌町から情報発信　　平成２３年４月１６日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

品目	仕様等	数量
仮設ハウス （ユニットハウス）	５坪タイプ	１０棟
塩ビ管（ＶＰ管）	φ１００　　４０m分	１０本
塩ビ管用ソケット	φ１００	４個

是非ともお願いします。

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０８０－１８５１－４９１１

大槌町から情報発信　　平成２３年４月１７日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

物資集約拠点で荷役台として使用する

●パレット　1200×1100　程度　・・・　１００枚

※上記サイズを希望しますが、どんなサイズでも構いません。

の提供を至急お願いします。

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０８０－１８５１－４９１１

「東日本大震災」に係る物資の要望について

震災により、野田村役場の電話・ＦＡＸが不通となっていたため、野田村分の要望受付を久慈市で行っていましたが、野田村役場の電話・ＦＡＸが開通したことに伴い、当掲示板での要望を終了いたします。

これまでに、皆様から角スコップやガスコンロ等の物資を提供いただきました。心より感謝申し上げます。

なお、今後必要となる物資につきましては、野田村のＨＰで要望しておりますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

久慈市総合政策部政策推進課

大槌町から情報発信　　平成２３年４月２８日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

４月１６日付けの「大槌町から情報発信」において今すぐ必要な物として、「塩ビ管・塩ビ管用ソケット」の提供をお願いしておりましたが、ご提供いただけることとなりました。心より感謝申し上げます。

なお、以下の物がまだまだ足りておりません。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

品目	仕様等	数量
仮設ハウス (ユニットハウス)	５坪タイプ	１０棟
スチール棚 スチールラック キャビネット	※サイズ等は問いません。 物資集約拠点の限られたスペースを 有効活用するために使用する物です。	
パレット	1200×1100 程度	１００枚
電気式炊飯器	※１升炊き以上。中古で構いません。 町内各避難所で使用するものです。	

是非ともお願いします。

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０８０－１８５１－４９１１

大槌町から情報発信　　平成２３年４月３０日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

ガレキの撤去作業に使用するため、以下のものが早急に必要です。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの）】

品目	仕様等	数量
防塵ゴーグル	防塵	１５０

是非ともお願いします。

※全てでなくても可能な数でも結構です。

（イメージ）

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０８０－１８５１－４９１１

山田町の臨時掲示板

必要物資名	単位	数量	規格	備　　考
長　靴	足	50	26cm	支援の際は、「漁業用支援」と記入願います。
長　靴	足	50	27cm	
長　靴	足	20	28cm	
カッパ	着	50	L	
カッパ	着	50	LL	
ゴム手袋	足	200	L・LL	

担　当:水産商工課長　伊 藤

連絡先:090-4304-9042

目的　:　漁業者による海上、漁港内のガレキ撤去作業に使用するものです。

いわき市からの情報発信　　平成２３年５月１日

支援物資の受け入れの中止について

このたびの東日本大震災に際し、全国の皆様から多大なるご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

おかげさまで、物資および食料等は、当面の必要数が確保されておりますので、受け入れを一時停止させていただきます。

なお、再開する場合には、改めてホームページ等に掲載いたします。

今後も、被災者等の生活支援に、市民・職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

支援物資担当連絡先

電話：0246-24-7111　ファックス：0246-22-7549

問い合わせ時間

午前９時から午後５時まで（土日・祝日も可）

http://www.city.iwaki.fukushima.jp/

大槌町から情報発信　　平成２３年５月１２日

全国の皆さん、大槌町副町長の東梅政昭です。この掲示板にて被災地大槌町から生の声を発信し、今の状況を伝えたいと思います。

支援物資基地へのトラックの出入り確保の為、以下のものが早急に必要です。

【今すぐ必要なもの（欲しいもの)】

品目	仕様等	数量
敷鉄板	**22 × 1,524 × 6,096**	１００

是非ともお願いします。

※同等品の鉄板及び可能な数量でも結構です。

◎連絡先となる災害対策本部の電話番号は次のとおりです。

大槌町災害対策本部　　０１９３－４２－２１１１

岩手県久慈市

復旧･復興に向けた物資の提供をお願いします。

今般の大地震によって、多くの地域が被災しました。当市でも復旧・復興に向けて、鋭意努力をいたしておりますが、必要な物資が不足していることから、次のとおり物資の支援をお願いいたします。

連絡先：久慈市農林水産部林業水産課
電　話：0194-52-2122
ＦＡＸ：0194-52-3653

名　　称	仕　　様	数　量	備考
投光器	300w 以上	29	4/3 掲示
発電機	3kw	19	
単　管	5,000mm　φ50mm	100	
〃	4,000mm　φ50mm	50	
〃	3,000mm　φ50mm	100	
〃	2,000mm　φ50mm	100	
水中ポンプ	口径 50mm、揚水量 0.195m3/分、揚程 8m、電動機 0.75kw×200v×50Hz	2	
海水殺菌装置	8t/h	10	
ブルーシート	一番大きいサイズ	15	
ポンプ車	小型	1	
ブロワー	1t 水槽用	20	
仮設トイレ	900mm×1,450ｍｍ×2,500mm	10	